



- 71 -

長い歴史を持つ鹿笛吟社。
後継者を育てていくことが目標。

岡野 友行さん (泉町1) 鹿笛吟社 会長



昭和7年に発足し、今年で80周年を迎える「鹿笛吟社」。
鹿追町の文化団体の中でも、古い歴史を持つ鹿笛吟社の会長を務めているのが岡野友行さん。
岡野さんは、昭和50年に職場の先輩に誘われ入会。40年近く俳句を作り続けている。
決められた兼題に添った句を2句ずつ考え、毎月7日に行われる例会に句作を持ち寄り、発表し合う。それらの句は町広報紙、新聞や雑誌の文芸欄を飾っているほか、町民文化祭作品展にも出展している。
また、岡野さんの句は、本町遊歩道(然別川沿岸)に句碑となって建てられている。その隣には、同じく鹿笛吟社会員で、奥さんの道子さんの句碑も並ぶ。
例会では、句を披露するだけでなく、新年会などを開催し、メンバー同士の親睦を深めるひととき。
「俳句を通じて、新しい出会いや人とのつながりを強固にすることもできました」

「続けることは大変ですが、皆さんに読んでもらえることで、俳句を作る励みになっていきます」
最近も、ふとしたときに思いつく句よりも、兼題に向き合って考えることが多くなったと岡野さん。
「俳句は、紙と鉛筆さえあれば、どこでも簡単にできます。頭を使うから、頭の運動にも」
楽しみながら、俳句を作り続ける岡野さんだが、「何とか若い年齢層の方に俳句に興味を持ってもらいたいのだが」と悩みごともある。
現在会員は17人。ベテランの方が多く、30〜40歳代の会員は少ない。
「長い歴史を持つ鹿笛吟社を私の代で終わらせるわけにはいかない。後継者を育てていくことが今の目標」
先代への感謝の気持ち忘れず、ことなく、俳句の素晴らしさを次世代に伝えていこうと取り組む岡野さん。
鹿笛吟社は80周年を迎え、句集を作成中。平成3年に60周年を迎えた時以来の発行となる。
平成3年から今日までの20年の歩みがつづられる。鹿笛吟社にまた、新たな歴史が刻み込まれる。

初心者運転者への思いやりと融雪期の安全運転

これからは、高校などを卒業し新たに運転免許を取得した方が、交通社会に仲間入りする時期を迎えます。初心者マークのドライバーが安心して運転できるように、思いやりのある運転を心がけましょう。

また、寒さが和らぐとともに路面の乾燥が進みます。朝晩や日陰、橋の上などでは、思わぬところで凍結路面によるスリップ事故が発生することがあります。速度を抑制し、変化する路面状況に対応できる運転を心がけましょう。



【運転者の皆さんへ】

- ・ 天候が穏やかな日には、徒歩で外出する機会が増えることから、歩行者が巻き込まれる事故の発生が懸念されます。高齢者や子どもを見かけたら、徐行するなど、思いやりのある運転をしましょう。
- ・ シートベルトはもしもの時の命綱です。「近所までだから」慣れている

- 道だから」と油断せず、後部座席を含めたすべての座席でシートベルトを必ず着用しましょう。
- ・ デイ・ライト(昼間点灯) 運転は、自らの車の存在を歩行者や自転車に目立たせることにより、交通事故の防止を図る効果が期待できます。自らが率先してデイ・ライト運転を実践しましょう。

【歩行者の皆さんへ】

- ・ 道路を横断しようとしているお年寄りや子どもを見かけたときは、積極的に声をかけ、安全に誘導してあげましょう。
- ・ 道路付近で遊ぶ子どもを見かけたときは、安全な場所遊ぶように声をかけ、子どもを交通事故から守りましょう。



気をつけて！ 悪質商法

3月の消費生活相談員相談日

3月の「消費生活相談員による来町相談日」は次のとおりです。皆さんからの相談は秘密を厳守しますので、安心してご相談ください。

- 相談日 3月16日(金) 午後1時30分〜4時30分
- 会場 トリムセンター
- 相談員 上村正子(かみむらまさこ) 帯広市在住

悪質商法にご注意を

送りつけ商法

注文をしていない商品が勝手に送られてきて、代金を請求されるのが「送りつけ商法」です。請求書などで代金を請求するものと、代金引換の宅配便や郵便などで送られて来るとあります。



○ハンコ注意

・ 不明な商品が届いたら、返品をするか、手つかずのままにしておきましょう。
14日たてば処分しても問題ありません。
万一、業者が返還を求めてきたら、着払いで返送しましょう。



・ 代金引換で送られてきた場合は、お金を払う前に、家族などに確認し、誰も注文していないものは支払わず、受け取りを拒否しましょう。一度お金を支払ってしまったら返金が難しくなってしまうので注意しましょう。